

終に全し解決は困難とならず
。週停経過

六月九日 此日得雲 高柳團見たり大野代表や中村四子等
等 等 罷業團例代表とし見られる地味七市を運ぶに
團代表と會見した。その後数回會見後六月十七日加藤
七市を運ぶに 週停内容等を示す

一、本議費甲と云ふことは 認めることは出来ぬ一し金一封を
贈る 金言回は一カ内にある

一、解着者は二百名 解着多きは相当 北止の如き事及び
洗題になつたがこれは週停者が令社より承認を得るもの
とし置くに止むに此の程度にと云ふ位にの処に問題にな
らう令社例よりし組合からし問題にすればが立上り得ることなる

六月二十四日 渡辺市見外七名 週停の苦を取らため活動をする
こととなり 鈴木幸作は會社例も高柳は本議團例も
此日得雲は二兩者の同を 斡旋すること決定し六月二十日
二市役所本會議室にて本議 團例代表と會見す

週停着例 鈴木 大野木 中村 柴田 二市助役 藤田
高野 署長

本議團例 大南喜一 釋 喜三市 小山以下八名

六月三十日 午後九時 十五分 二市會議室にて本議團代
表者と週停者と二回の會見をおこなふが 解着者二
百三十三名を承認し且つ後の問題を協議することに代表は
告げたるに 後等代表は問題ならぬ強硬の態度に
出たため遂に決裂あり